

第34号 (2月号) 2016年 2月4日	七里ヶ丘こども若者支援研究所 <b>それが社会参加だ!</b>	住所:鎌倉市七里ヶ浜東2-31-12 連絡先:090-7212-4055 Email:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp 編集長:新井秀浩 発行責任者:滝田衛
--------------------------------	------------------------------------	--

♪よっちゃんどボク 作詞高比良秀一さん(会員)

ぼくの未来は音楽 楽しい うた よっちゃんは 大きな声で ベラベラ  
 シャベるお母さんは 小さい声でと 何度も言う よっちゃんは 35歳だけど  
 いつまでも少年のよう 秀一は いつもニコニコ聞く 体を鉄球みたいに  
 回す よっちゃんは 大きな笑顔 無邪気な心 ちいさいときから  
 僕は大好き 頼れる兄貴分 よっちゃんは 欲張って 沢山食べる  
 お母さんは優しい声で 厳しく言う よっちゃんは 35歳だけど いつまでも 少年のよう 秀一は い  
 つも冷静にきめてさ 格好つけてるけど よっちゃんどボク とんちんかん かみ合わないね 小さい  
 時からぼくは大好き 頼れる兄貴分 ぼくの未来は音楽 楽しい うた



自分らしく・・・素晴らしい 高比良和枝(秀一さん母)さん

2014年10月横浜ジャズが流れる街角で食事をしたり、音楽を楽しんだりして半日を過ごしました。その後曲を作ることを少しづつ話しました。一ヶ月後でしたか、スケッチブックにその時の様子を描いてもらいました。その絵に吹き出しを付けて、その時喋っていた内容を吹き出しの中に書き込んでもらいました。完成したスケッチブックの絵を見ながらピアノでアドリブ演奏をするように曲が出来上がりました。その光景を見たとき、わが目を疑いましたが、取りあえず楽譜にしなきゃと思い、彼は楽譜の勉強をしたことがないのですが、出来る範囲でいいと思いやってもらいました。その後レッスンの時に先生に教えてもらいながら譜割りを直して完成させました。記念すべき1曲目の作品は完成に2ヶ月位かかりました。



出来上がった曲をよっちゃんとお母さんに聴いてもらい、喜んでくれた事を秀一も嬉しいそうにしていました私たち親子は自分に出来ることを工夫しながら一生懸命にやっているように思います。

ドジで中途半端な私なのですが秀一をサポートすることで沢山の人の出会いその方たちに力を頂き色々な事を経験し沢山の幸せをもらっているような気がしています。またレッスンとダブらない時はいつも応援団の定例会に彼の意思で参加させて頂いています。約2時間時々居眠りをしながら発言も通訳がいる感じですが皆様には聞く力がありなので彼も安心して話そうと思うのでしょうか。その状況に母として感謝の気持ちでいっぱいになります。コミュニケーションをとるのが苦手な自閉症の彼ですが、自分らしく生きている姿勢は素晴らしいと思います。

**コラム風** 2年続け小田原市へ。今回は「自分らしく生きる」講演と不登校経験者の座談会の企画でした。若者3人と母親2人に適応指導教室の利用を通して“自分らしさ”に出会う数年を語ってもらいました。「学校へ行かせたい」母親と「行けない」子の葛藤が共に「行かなくていい」と変容し、“自分らしさ”に出会う過程を。直面するコミュニケーション、友人関係、部活動や発達障がい、学校の学習環境に左右される苦戦を明解に子どもが語ってくれました。高校生活を充実させアルバイトや進学就職へ“自分らしい”成長を実現する姿を参加者と共有できました。不登校を差別しない社会の到来を願って。



(鴨宮駅前)

## 1月24日子ども若者応援団 **子どもは独立した人間 家族の在り方とは**

3月26日に行う第3章いじめ・不登校解決のサミット“準備会”と致します。民間と行政が手を取り合っ、子どもを中心とする地域づくりが実現することを願って進めていきます。皆様のご参加よろしくお願いたします。

さて今年初めての応援団会議、皆さまの熱い議論で盛り上がりました。学校の問題から家族への語りが始まり、子どもは親の所有物ではない。子どもは独立した人間であり親であっても自主性を尊重すべき。また、子どもにとって「食事」がいかに心身ともに大切なことか。一見豊かに見える日本でも貧困の問題がある。全国で年収122万円(単身者 4人世帯で244万円)で暮らす世帯が16%を占め、隠れた貧困が確実に存在すること。さらに親の背中、大人の姿が子どもに多大な影響をもたらすこと。そんな素晴らしい議論が出来ました。次回応援団定例会2月21日です。3月26日への講演会へ向け知恵をお貸ください。  
(新舛秀浩)



**ご案内** 3月26日午後2時～産業交流プラザ・第1研修室  
「第3章いじめ・不登校解決へ 市民サミット開催準備会議」  
 定員64名申込制 県市教委・民間NPO出席 詳細別紙

### それぞれの風

○この1月「何も考えずゆっくりやっいていこうと思います」と2人の若者が穏やかに口にした。「コミュニケーションが下手で練習しないと」「怠けてきたので時間がありません」と焦る姿をみせながら数年間ひきこもっていました。親や学校や社会から“焦る”ことを学んできたので体が動かないのです。外から迫られる力にではなく、自分の中から湧いてくる力に気づく、それが「何も考えず」だと実感しました。外圧から開放され“自分らしく”を実感する若者と今少し歩いていこうと…。

○中学生が高校入試へ行動を始める時期です。入試勉強はもちろん、面接シートを書き面接練習へ。質問に詰まって涙を流す不登校の子どもに、僕がオタオタする。「スマップの謝罪会見た？(なぜ謝罪なの…)」と切り替えると空気が和んだ。翌週には「言葉が出ませんでした」と説明する姿は穏やか。気持ちを整理したんだ!



元旦初日の久里浜の海岸  
川辺悟史さん撮影

●ウツウツとした日々をおくっています。原因がわかりません。相談を受けていますし会議も講演もやって、寝不足ありません。65歳を迎える今年、体力だけではなく精神力もおとろえて始めているでしょう(笑) そうです、自分自身が「ありのまま」を受け入れ、楽しいこと素直な自分の姿を描き出すことを実感しています。3月講演会準備が遅れ各教育長さんへの依頼が終わりました。結果、2月号編集が遅れ4日に完成です、ご容赦ください。(滝田衛)

#### 【ご参加下さい】

応援団会議は横須賀市・市民サポートセンターで行います  
皆様ご参加下さい。今回は篠原宏明さんも同席してくれます。

#### 2月研究所開設日程 相談時間10時～16時 土日訪問はご相談

1日(月)	他事業	18日(木)	相談
5日(金)	予約済み	20日(土)	栄区講演会
6日(土)	大和市講演会	21日(日)	<b>応援団会議</b>
8日(月)	予約済み	22日(月)	予約済み
11日(木)	祝日	25日(木)	相談
15日(月)	相談	29日(月)	相談